

KIZUNA

No.21

令和4年9月発行

福岡県の地域コミュニティ情報誌



定着と共生を目指した地域づくり

須恵第三小学校区コミュニティふれあいレインボー（須恵町）

ふるさとをつなげる

岩屋地域づくり協議会（東峰村）

第三小学校区コミュニティ ふれあいレインボー（須恵町）

「水と緑と光のまち 須恵町」

霊峰・若杉山に抱かれた大地に、須恵川の青く澄んだ水、美しい自然がいたるところに息づく須恵町。

福岡市に近く、通勤・通学に便利な福岡市のベッドタウンとしても知られています。

そんな須恵町で活躍されている「第三小学校区ふれあいレインボー」の活動を、エコトンが取材に行ってきました！



◎ ぼくの名前はエコトン！
福岡県のマスコットキャラクターで、
広報部長にも任命されているんだ。

今日は、「須恵町まちづくり課コミュニティプランナー」の栗原さんと須恵町役場の方に、お話を聞かせてもらえると聞いてやってきたトン。
早速、お話を聞いていくトン！

㊤ そもそも、ふれあいレインボーってどんな活動をしているの？

年間を通して様々なイベントを企画しているよ。学びの広場やイルミネーション事業、季節ごとのマルシェやフリーマーケット、軽スポーツ（グランドゴルフ）大会、ふれあい夏フェスなど、地域のみなさんが楽しめる催しをしているんだ。

学びの広場は、幅広い年代層が楽しみながら短時間で受講できる講座です。ヨガやスマホ教室、ものづくりのワークショップ、手相などが人気だね。参加者からは「参加費が無料の上に、自分の興味があるものを参加できるのが良いね」という声をいただいているんだ。町が実施している講座は全6回等が多いから、気軽に参加できる学びの広場は人気があるんだろうね。

冬まつりでは、第三小学校前のふれあい通りのイルミネーションが好評だね。須恵高校の生徒達がお手伝いをしてくれるんだ。この地域には、小中高と近くに学校があって、それぞれに力を貸してもらうことも多いんだ。このような学校とコミュニティのコラボレーションも、ふれあいレインボーの特色の1つだと思うよ。

そして、今回は何ととっても今年初開催となる「夏フェス」を見ていってほしいね。

㊤ いろいろな活動をされているんだね！学校の生徒さんとのコラボレーションも素敵だな。夏フェス、ぜひ参加させてほしいトン！



実は、明日は「ふれあい夏フェス」本番なんだけど、エコトンも参加していくかい？

夜には打ち上げ花火も上がるよ。みんながどんな表情で花火を見てくれるか楽しみだな。

㊤ やったー！！お祭り楽しみだトン！！





・・・そして、いよいよ本番当日です。
大勢の人が笑顔で会場にやってきました。

㊤ 大人も子どもも、楽しそうだトン。
中には夏祭りらしく、浴衣を着た方もいるね。
晴れ渡った夏空、花火も楽しみだトン！

楽しんで
いってね！



㊤ よーし！！
「ふれあい夏フェス」
を満喫しながら、もっとお話
を聞かせてもらうトン！！



㊤ とても賑やかだね！どこ
から回ろうか迷ってしまうな。
今日はどんなことをするの？

良い質問だね！ステージでは、地元の高校生や地域で活動する団体さんが日頃の練習の成果を披露してくれるよ。

出店も出るんだけど、たこやきやからあげ、かき氷はもちろん、かしわごはん、いも天、ピタパンサンドなどおいしいものばかりだよ。他にも、めだかすくいやくじ引きなど、楽しみがいっぱいだね！




㊤ 活動していく中で苦労したこととかあるのかな？

そうだね、地域の活動がいかに重要か、地域の人に理解を得られるかが大変だと感じる人が多いね。地域コミュニティ活動の大切さを理解していない人もいるからね。

地域コミュニティが衰退すると、地域が衰退する。年配の方は、地域のつながりの大切さを身をもって知っていらっしゃるけど、若い方だと危機感が無い人も多いかもしれない。

私は以前、教師、校長として地域活動に参加していたから、学校や、区長さんたちに協力してもらえる環境にあるから、本当に助かっているよ。



㊤ 活動していく上で、
行政ってどんな存在なの？

行政は、なくてはならない存在だね。
まず法律や行政施策があって、それに基づいて私たちが活動をしていく。これからも変わらず、あたたかく見守ってくれるとありがたいね。

㊤ この活動をして良かったことや、どういう思いや気持ちで活動しているかについて、教えてほしいトン！

結果というものは見えないけれど、成果が積み重なって行って、ふれあいレインボーの成果をきっかけに人々がつながっていくのがうれしいね。人間関係づくりのきっかけを提供できる場所だと考えているよ。

コミュニティ活動は20年前から中心となっている人が変わっていないから、現在は65歳以上の人たちを中心に活動しているんだ。若い世代の方が育たないのが悩みだね。

そこで、今回の夏フェスをきっかけに、40代前後のお父さんたちが中心となって「おやじの会」を結成したんだ。お父さんたちが実行委員会として活動を始めたら、自然と仲良くなってつながりができたんだよ。将来のことを考えると、幅広い世代が必要で、こういったつながりが、まちづくりのベースとなっていくと思うよ。



㊤ 今後の課題や目標を教えてください！

今は大丈夫だけど、この先自分のアイデアがなくなったり、意欲がなくなったりすることも考えられる。今回の夏フェスのために結成されたおやじの会のように、集まった人材に対して、育成をしていく必要があると思っているんだ。アイデアがあったとしても、それを実際にやれるかどうか、実行に移せる人材がなかなかいないのが課題だね。

そして、地域コミュニティがいかに大切かを伝えていく必要があると感じているよ。地域コミュニティで楽しい活動をして、須恵町っていいなと思う人が増えれば、地域に人気が出て人が増える。そうすると町の文化レベルが上がる。将来的にここまで見据えて、今の活動をしているんだ。そこまではなかなか誰も考えていないけれど、それをわかっていてもらいたいと思っているよ。

㊤ 最後に・・・

栗原さんにとって、ふれあいレインボーってどんな場所かな？

人を楽しませたり、喜ばせたりすることができるとても面白い場所だね。地域のために活動して、イベント等に来た人が、喜んでいて、楽しんでいるのを見るのが、かえがたい喜びだよ。

㊤ たくさんお話を聞かせてくれて
どうもありがトン！

須恵町のみなさんに
また、会いに来るトン！！

ぺこりっ



岩屋地域づくり協議会（東峰村）

きれいな川に、森閑とした山々。
澄んだ空に瞬く星と地上でやさしく光るホタル。
東峰村は、そんな自然の生命力に満ち溢れています。

福岡県中央部の東端、大分県の県境に接し、村ではそれぞれの地域の特色を活かした地域の活性化を行っており、各地区の生涯学習の拠点や歴史あるまつり・イベント等を通して、福祉・子育て・環境・文化・伝統など多方面の分野において様々な住民活動・交流を進めています。

そんな東峰村で活躍されている「岩屋地域づくり協議会」の活動を見せてもらいに、エコトンが取材にやってきました！（和田さんととほっぴにお話を聞いたトン！）



🍵 私の名前はとほっぴ！

きれいな川に住む「ホタル」と名産「小石原焼」と「棚田」が、岩屋神社のご神体「宝珠石」の力によって一つになり誕生した妖精です。田舎育ちで少し気の弱いところがあるけど、優しく、芯の強い頑張り屋です。

東峰村をPRするために、活躍しています。みなさん応援よろしくお願いします！

👉 「岩屋地域づくり協議会」って、どんな活動をしているの？

まず紹介するのは、「地域資源の活用」だね。ヤマメの試験養殖や水ワサビ・山ワサビの試験栽培、平成の名水100選にも選ばれた「岩屋湧水」を使った商品の開発、視察研修などを行っているよ。



👉 だから、こんなにたくさんのヤマメがいるんだね！

ヤマメの試験養殖は、田んぼの一角にプールを設置して行っているんだ。協議会のメンバーが、交代でエサやりや掃除などのお世話をしているんだよ。育てたヤマメは、日本の棚田100選「竹棚田」のライトアップやトレイルラン、蔵開き、村外のイベント、大学や子ども食堂などで販売や提供をしていたんだ。

だけど、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で祭りが中止になり、販売ができなくなってしまったから、缶詰製品に加工することにしたんだ。

今年はオイル漬け、甘辛山椒煮、ニンニクマヨネーズ味の3種類を販売しているよ。



㊦ これは、何の葉っぱかな？

🌿 水わさびの葉っぱです！根っこの部分が、よく見るわさびなんですよ。

さすがとほっぴ！よく知ってるね。

水わさびは一般的なもので綺麗な水でしかできない上に、収穫まで2年もかかるんだ。山わさび（葉わさび）は畑で育てるワサビで、収穫するまでに1年かかるね。

今後、生産を増やしていこうと考えていて、ふるさと村という第三セクター等を巻き込んで商品化する予定だよ。

🌿 さあ、エコトン一緒に地域をまわってみましょう！



活動していると、悩むこともあるよね・・・

なんと言っても、人が少ない。会員は37世帯100名程度（取材当時）いて、区長が会長を務めているんだ。

だけど、地域への思いが強い一部の人に負担がかかりすぎてしまっているのが悩みかな。ボランティアの方たちにも協力してもらって活動しているんだけど、日々の活動に地域から出てくる人たちは限られている。

自分たちは「イベント屋」になってしまっていないか、ふと我に返ることがあるよ。交流人口を増加させるためにイベントを開催して、ここでできないことを体験してもらおう・・・これをただ繰り返しているだけになっていないか。地に足がついた活動ができているか、常に意識して活動するように心がけているよ。



🌸 他にも素敵な活動をされていますよね！

そうしてもらえると嬉しいな。ファンづくり（交流人口の増加）について紹介するね。景観保全活動として、ツツジの手入れやイベント等を行っているよ。

地区には平成29年7月の豪雨災害まではJR日田彦山線が通っていて、ツツジは鉄道の車窓から美しい風景が見えるようにと、約45年前に植樹したものなんだ。元々は、3つの地域【伊王寺（いおうじ）、下鶴（しもづる）、栗木野（くりぎの）】で手入れをしていたけれど、地域全体で取り組もうという話になり、現在では、屋椎（やしい）を含めた地域の4つの地域、約30世帯100名でお世話をしているんだ。ただ、高齢化の影響で、次第に保全が厳しくなってきたね。

この他にも、農産物等の講習会や加工講座を開催したり、集落点検勉強会やボランティア登録制度を検討したりしているよ。



🌸 活動していく上で、行政はどんな存在でしょうか？

車の両輪のような存在だね。

自分たちがどうにかしたい、こうしたいと思ったときに、やっぱり財源がネックになることが多くて……。ただでさえ、みんなボランティアで活動してもらっているのに、そこからさらに身銭を切るとなると、活動が続いていかないだろうし、新しく活動に参加したいと考えている人がいても、なかなか入りにくいと思う。

自分たちが行政に思いを伝えれば、指摘をくれたり、資金を稼ぐための手段を教えてくれたりするから助かっているよ。他にも、視察先の紹介や、声かけをしてくれるんだ。

👤 岩屋地域は、和田さんにとってどんな場所トン？

楽しくて、本当に充実している場所だね。

地域のための活動をしていると、週末に旅行やドライブ、なんかにはあまり行けないけれど、みんなが一生懸命いろいろな活動しながら頑張っているんだ。

◎ この活動をしていて、良かったことについて聞かせてほしいトン!

平成29年の九州北部豪雨で被災する前は、地域のことや仕事のこと、生活のことは、自分たち(40~50代)の親の世代(70~80代)が実権を握っていたんだ。だから、災害後には地域の活動も仕事も「諦めるしかない」という人が多かったんだ。

そこで、自分たちの世代に何かできないかとみんなで考えたんだ。自分たちはまだ、本気で頑張っていない世代で、こうしたらいいのでは?と色々なことを勉強してみると、いつの間にか自分たちの世代にも責任感が出てきたんだ。

災害は、今の活動に繋がっていく、たくさんのことを考えるきっかけになったんだ。



🌿 様々なことを勉強されたんですね。勉強することで、知識以外にも得られたものがあると伺いました。

勉強していくにつれ、自然と親世代の方に話を聞く機会が増えていったんだ。

互いの思いを話していくうちに、それぞれの考え方が前向きになっていったんだよね。理解し合って、現状を変えようと進んでいく人が増えたように思うね。



◎ 活動していくうちに、人同士の繋がりが多くなっていったんだね!

異なる行政区や親世代から20代までたくさんの人が繋がったよ。

例えば、自分たちは「炭焼き」を生で見たことが無かったんだけど、当時90代の方が地域に唯一炭焼き窯が残っていることを教えてくれたんだ。実はその方には、窯を残したいっていう思いがあったんだ。

そこで、自分たちが窯の修復を手伝って、実際に炭焼きを体験させてもらったんだ。火の守をしながら、戦時中の話や人との付き合い方、元気の秘訣なんかを聞いたんだ。

あの夜のことは、忘れられない経験だね。今はその方は亡くなったんだけど、自分たちは炭焼きを続けていて、岩屋キャンプ場で作った炭を売っているんだよ。



🌿 一緒に地域を創っていく、
地域の方々へメッセージをお願いします。

自分が地域の方に伝えたいことは、みんなで一緒に盛上げていきたいという思いだね。

自分たちが活動しているからといって、親世代には「頑張りよるな。これからは任せたぞ!」という姿勢になってほしくないと思っているんだ。力仕事は自分たち世代に任せてもらって、活動後の懇親会にだけでも良いから、ぜひ顔を出してもらいたい。思いを聞かせてもらって、一緒に考えてもらえればなと思うよ。

ボランティアや地域の外の方々に、自分たちを気にかけてくれている方々がいる。嬉しい気持ちもあるけれど、同時に甘えすぎてはならないという気持ちもあるよ。あくまでも、「被災者様」にはならないように、自分たちの気持ちを持っておくことが大切だと思うよ。

外から来ていただいたときには、「来て良かった、楽しいね!ここでしかできない体験だね!」と思ってもらえるような地域でありたいよね。

そのために、岩屋でしかできない、湧水やヤマメを活用して、若い人にできるだけ参加してもらうようにしているんだ。山を走り回って散策したり、自然の中で豚汁や漬物、ごはんを食べたり・・・せっかく来てもらうなら、そんな体験をして喜んでもらいたいよね。

🗨️ 今後の活動や課題を聞かせてほしいトーン!

なんととっても、地域を元気にしていきたいね。

今ある素晴らしいものを、次の世代につなげていきたいんだ。ただ、現状の人口構造から見ると、どうしても限界を感じることもあって。だからこそ、交流人口から関係人口へと繋げていき、この地域を「第2のふるさと」と思ってくれる人を増やしていきたいと考えているよ。

地域外の方の視点と力は、もちろん地域を元気にするには欠かせないものだと考えている。ただ、頼りすぎてしまうと、地域の頑張りが手薄になってしまうと思うんだ。そのバランスは、とても難しいと感じるね。毎日が模索の連続だよ。



筑豊フェア2022

～おどりと食の祭典～を開催します！

筑豊地域自慢のグルメや特産品を販売するほか、和太鼓の演奏や創作炭坑節の披露など地域の文化を伝えるステージイベントを行います。

また、特産品が当たるスタンプラリーやクイズ大会など楽しい内容が盛りだくさん！

詳細は、筑豊フェア公式HPをご覧ください→



日時：令和4年9月23日（金・祝）
午前11時～午後4時まで
場所：天神中央公園
ふくおか交流お祭りひろば
（福岡市中央区天神1-1）

体験型観光プログラム 「京築めぐり2022秋」を開催します！ （申込受付中）

心ほぐす気ままな旅へ、ようこそ。
今回は、オンラインツアー2本と体験プログラム15本をご用意しています。
京築地域の7市町をめぐるオンラインツアーは、京築のお土産を楽しみながらオンライン上で遠方の方もご参加いただけます。実際に現地で行う体験プログラムでは、秋の京築を存分にお楽しみください。

多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。



詳しくは、「京築まるごとナビ」をご覧ください！→

福岡県マイクラフトコンテスト開催中！！

県では、若い世代をはじめ、より多くの方に福岡県に関心を寄せてもらうきっかけとする新たな取組として、国内外の多くの方に楽しまれているゲームソフト「マイクラフト」を活用し、県内の建築物等、本県に関係した作品を制作いただく「福岡県マイクラフトコンテスト」を開催しています！
作品の応募は、10月31日（月）までです！

全国の皆さんからの
たくさんの応募を
お待ちしております。



県庁お知らせ掲示板

東峰村役場周辺を流れる大肥川。
まだまだ、災害からの復興途中だよ。
みなさん、応援よろしくトン！